

【医療者対象 Workshop 患者に学ぶ「がんと性」】 アンケート結果のご報告

表題のワークショップに関するアンケート結果をご報告申し上げます。頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載しています。

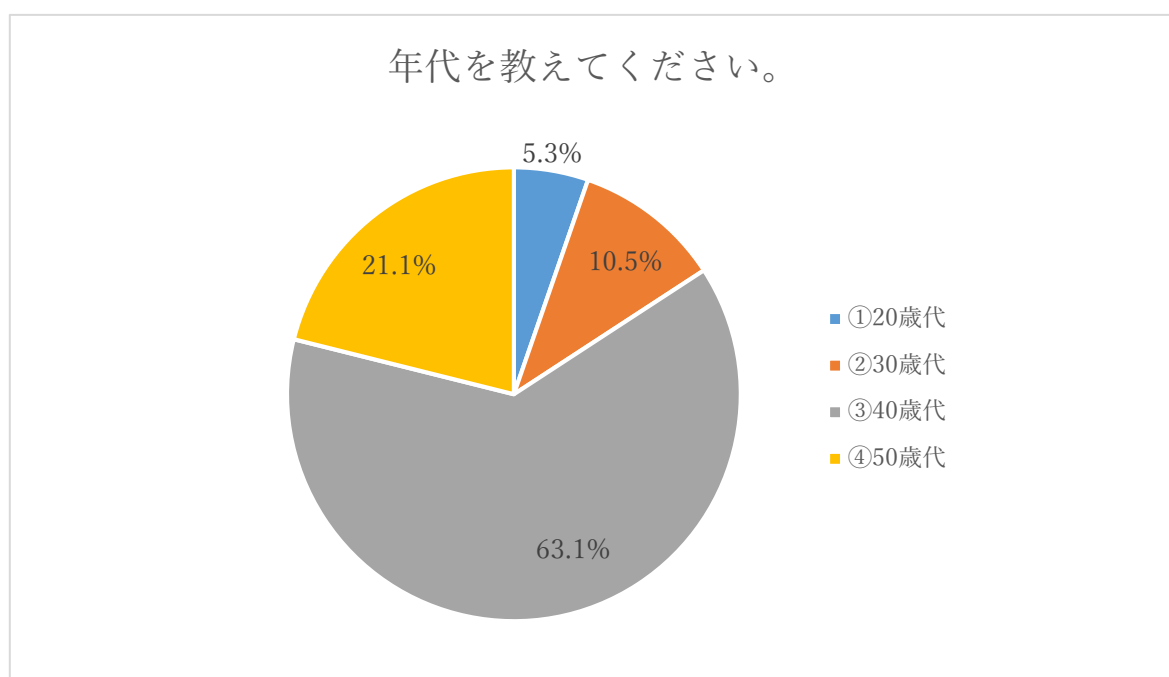
本ワークショップは20名の方にご参加いただき、19名の方からご意見を頂きました。また、4名のゲスト患者からもご意見をいただきました。

ワークショップ参加者、ゲスト患者に分けて結果をご報告いたします。

【ワークショップ参加者へのアンケート】

(1) 年代を教えてください。

①20歳代	5.3%
②30歳代	10.5%
③40歳代	63.1%
④50歳代	21.1%
⑤60歳以上	0.0%



(2) お住まいの都道府県を教えてください。 ※参加者不在の都道府県は省略しています

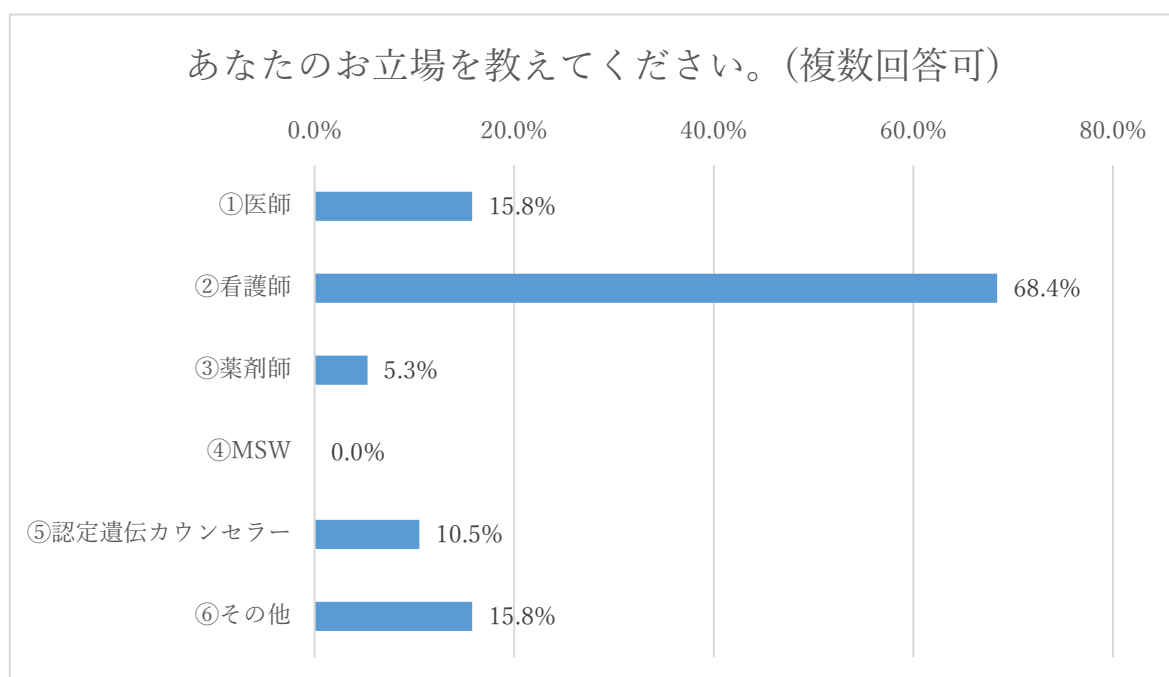
県名	人数	割合	県名	人数	割合
栃木県	1名	5.3%	三重県	2名	10.5%
群馬県	1名	5.3%	大阪府	1名	5.3%
埼玉県	2名	10.5%	兵庫県	1名	5.3%
東京都	4名	21.1%	広島県	2名	10.5%
神奈川県	1名	5.3%	高知県	1名	5.3%
長野県	1名	5.3%	福岡県	1名	5.3%
静岡県	1名	5.3%			

(3) あなたのお立場を教えてください。(複数回答可)

①医師	15.8%
②看護師	68.4%
③薬剤師	5.3%
④MSW	0.0%
⑤認定遺伝カウンセラー	10.5%
⑥その他	15.8%

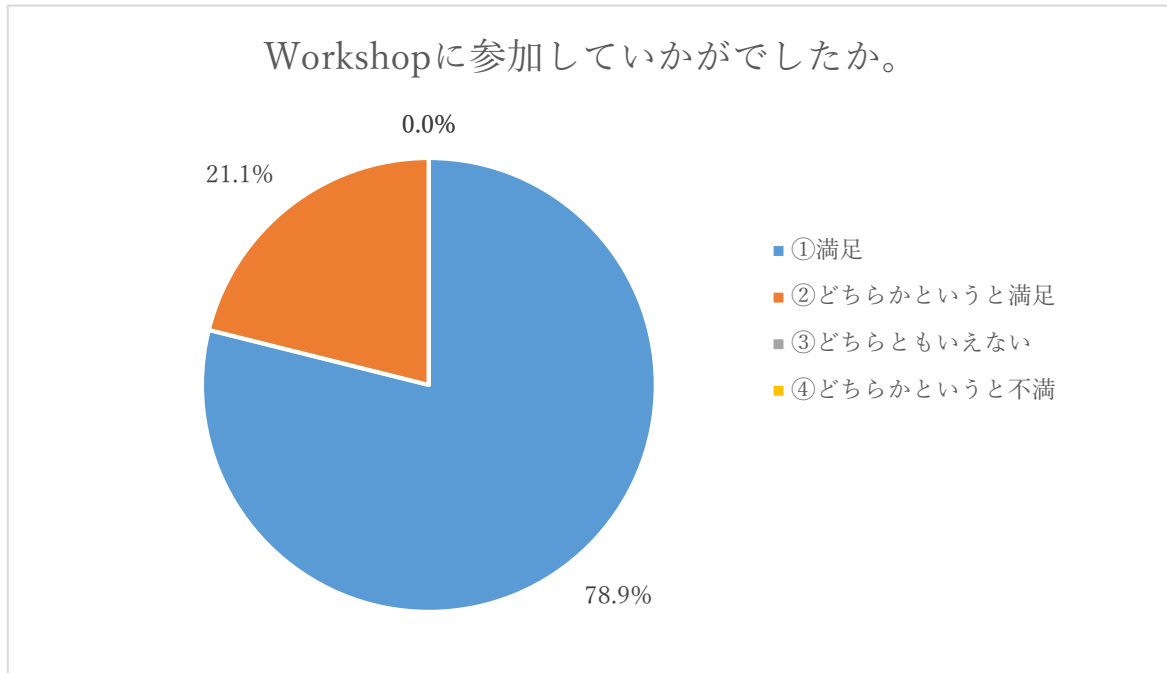
その他詳細 ※医療の専門職者としてがん医療に携わりつつ回答されたお立場です。

乳がん体験者、がん看護学大学院生、がん看護専門看護師



(4) Workshopに参加していかがでしたか。

①満足	78.9%
②どちらかという満足	21.1%
③どちらともいえない	0.0%
④どちらかという不満	0.0%
⑤不満	0.0%



(5) 上記回答した理由をお聞かせください。

- ・実際に患者さんの話を聞くことができ、性の問題は、一人一人違うことがわかりました。だからこそ、一緒に考えていくことが大切なのだと感じました。
- ・患者さんの直接の声を聞く事ができた他の病院のスタッフと職種を超えて問題点や課題を共有できた
- ・具体的な「できること」を考えることができた
- ・患者さんのリアルな悩みが聞けたため
- ・性を考える数少ない機会なので、貴重な意見が聞ける
- ・話しにくいことも含めてとても大切なお話が聞けたこと、最初に想定していたよりももっと広い範囲で性の問題に関わる視点が持てたこと、課題が具体的に見えたこと、同じように悩みながらがんばっている仲間が全国にたくさんいるとわかったこと
- ・実行可能な行動を見つけられました
- ・勉強不足を感じながらですが、日頃患者の「性」支援と向き合っています。医療者からは偏見

の眼差しを感じる日々ですので、性についてご関心を持たれている方と意見交換できるだけで、夢のような時間でした。本当にありがとうございました。

・たくさんの気づきを共有できました。以前よりセクシュアリティの支援不足を感じていましたが、同じような志を持つ医療者、勇気を持って当事者としてご協力くださった皆様との出会える貴重な機会でした。魂が揺さぶられるあたたかな時間でした。心より感謝します。医療者はつい欠けたものを補う方向に関わりがちですが（もちろんそれが必要なことも大いにあります）、欠けたものを無理に満たそうとしなくてもいいという関わりも必要だなとも気付けたことは大きな発見でした。ありがとうございました。

・学会やセミナーに参加し、当事者の方のお話を伺う機会はあったが直接質問したり、意見交換をすることはなかったので、今回の workshop は非常に貴重であった。グループワークの時間を長く取っていただいたので、発表の内容だけでなく参加者それぞれの疑問や課題を共有できた。

・サバイバー、他施設の多業種の方々と意見交換ができたこと。

・病気を体験した方と対話できたこと。他施設の方が課題だと感じていることグループワークの話し合いなどから、実践へのヒントを頂けたこと。

・患者さんの体験に基づく生の気持ちを聞かせていただけた。

・がん患者さんとその家族の方々が抱えておられる性に関する気がかりへの対応について、グループメンバー間でその悩みや困りごとや工夫できることを共有したりディスカッションする機会があったことが、何よりの学びでした。皆さま、ありがとうございました。

・少人数のグループで非常に聞きやすく話しやすい雰囲気でした。聞かせていただきたいと思っていたことを聞くことができ非常に貴重な機会でした。

・なかなかがんと性について当事者から聞く機会はないと思います。また各施設での取り組みなどについても情報交換出来て貴重な体験でした

・貴重な話が聞けて、有意義な時間でした。

・患者さんの生の声を伺い、看護師として足りなかった視点や情報提供の在り方を知ることができました。

・みなさまの日々の葛藤を伺い今後解決すべき課題を見出すことができたから

(6) その他、ご意見などあればお書きください。

・今後はロールプレイを試してみたいと思いました。

・またこのようなワークショップをしていただけたら嬉しいです。患者さんに直接お話を聞いたり、またほかの病院での支援の状況など参考になりました。参加できて良かったです。ありがとうございました。

・患者さんの支援にはとても重要な内容にも関わらず、医療者の認識が乏しい部分を取り上げていただき、とても有意義な時間でした。当事者の方々のご参加もありがたかったです。企画いただき、また参加させていただきありがとうございました。

- ・とても勉強になりましたので、是非 workshop を続けていただきたいと思いました。
- ・参加された方は国がんや、がんセンター、大学病院など、大きな病院の方が多かったです。市民病院ですと、全然体制が整っておらず、参加する土俵がすでに違う感じでした。でも、市民病院にも、患者さんは多くいらっしゃるの、少しでも皆さんに追いつけるように頑張らないと、と感じました。同じ、病院レベルの方とも相談したかったなあ、と少し思います。
- ・渡邊知映さんの「情報提供をしないで閉じてしまったら医療者としての責任はどのようなのか」という言葉はとても重いと思いました。それどころではない、とか、患者さんは踏み込まれたいか、とも、というような言葉で誤魔化しているのは実は責任逃れだ、と気づきました。それから、年齢も病期も関係なく人として大切なこと、ということも、周りの人たちみんなに伝えたいメッセージだと思います。このワークショップを企画して運営して下さったスタッフのみなさま、お疲れ様でした、そしてありがとうございました。同じような企画があれば同僚や後輩たちにも紹介したいと思いますのでまたぜひ開催してください！今後ともよろしく願いいたします。
- ・解説がより理解がすすみました。ハンドアウトが、あるとさらによかったと思います。
- ・私は生殖医療側の立ち場で、患者さんの性と生殖と向き合っています。当院の生殖医療現場はもともと医師と患者のみで行われていました。看護師として初めて生殖医療現場に足を入れさせて頂き、患者さんや医師、胚培養士と試行錯誤しながら、今日まで「病気」と「性と生殖の健康」の看護支援について 20 年弱ほど向き合ってきました。生殖看護を始めて 20 年前は生殖医療に対する批判が強く、救命ではないお遊びな医療だと医療者から罵声を浴びる、足を蹴られるなど暴力を受ける有様でした。「病気」と「性と生殖の健康」の看護支援について、なぜ医療者が感情的に怒るのか、なぜ健康の概念として認められないのかと思う日々でしたが、時代、社会のニーズの変化によって生殖技術が医療として認められようになり、少しずつ罵声を受ける機会が減り、少しずつ耳を傾ける医療者が院内でも増えてきているように思います。「性」について支援する、言葉以上の大変さがあります。1 月の CNJ イベントの最後にスタッフ様がおっしゃって下さった「性は心で生きる」ととても素晴らしい言葉です。小さくとも続けることが明日に繋がると信じています。
- ・今年でこの活動が終了してしまうのは残念ですが、キャンサーネットジャパンさんらしい、素晴らしいご企画、ありがとうございました。皆さんの顔が見られて、とてもうれしかったです。元気をいただきました。今後の活動のきっかけとできるよう、早速行動したいと思います。
- ・あれ、無料のワークショップだったっけ？と思うほど意義深い内容であり、楽しく参加できました。私は、1/21 のセミナーに現地参加しました。そのときの衝撃が今でも鮮明に残っています。医療者にとっては、大勢出会う患者さんの一人かもしれませんが、その人にしかない人生に向き合える看護師であろうと改めて決意致しました。
- ・前回のセミナーに続き、このような素晴らしいワークショップに参加させてもらい誠にありがとうございました。私、3 月に開催された JSMO 学術集会学術集会に参加してきました。3/17 金からの現地参加だったので残念ながら 3/16 の貴団体がご登壇されたシンポジウムに参加すること

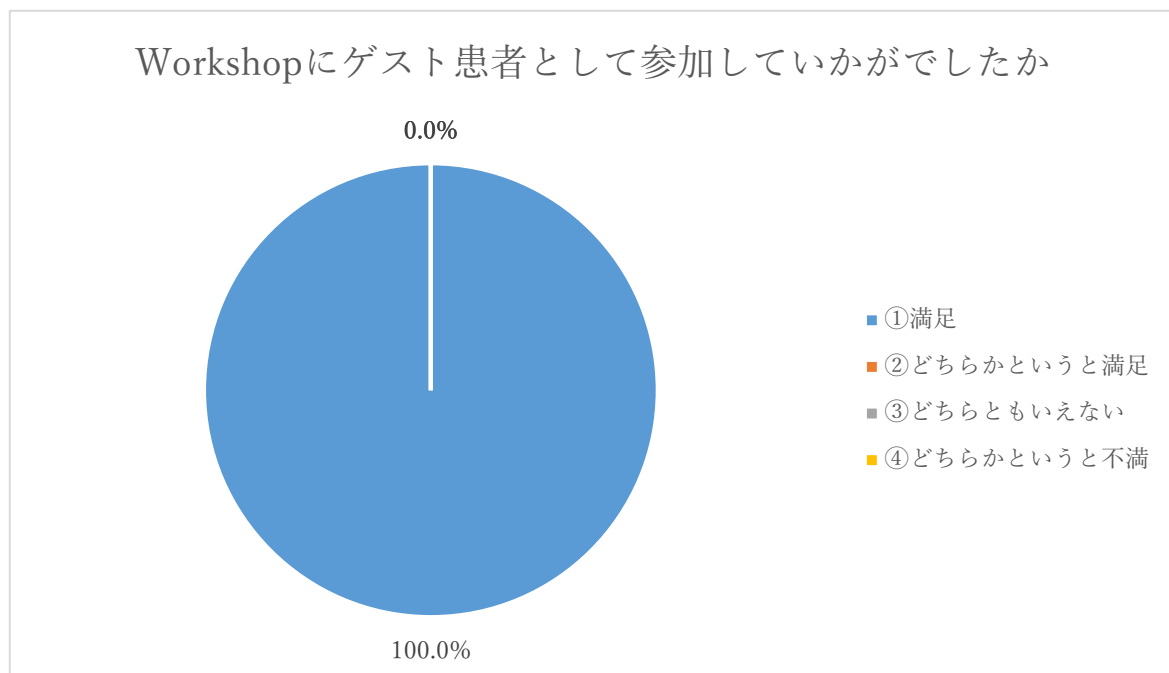
できませんでしたが後日オンデマンドで聴講させていただきます。今回の学術集会のタイトルは「Cancer, Science and Life」、がん診療において皆様の取り組みがいかに大切であるかを表したものだと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

- ・このような会を企画、運営していただいた関係者の皆様、ありがとうございました。
- ・この度は貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。
- ・医療者の前で体験談を話していただくというだけでも心理的負担だと思うのに、今回はがんと性ということでなかなか聞けない話もあり、とても貴重な体験となりました。本当に参加できてよかったです。またこのような貴重な機会をいただき、企画運営などありがとうございました。
- ・大変有意義な企画をありがとうございました。とても勉強になりました。また参加させていただきたいです。

【ゲスト患者へのアンケート】

(1) Workshop にゲスト患者として参加していかがでしたか

①満足	100%
②どちらかという満足	0.0%
③どちらともいえない	0.0%
④どちらかという不満	0.0%
⑤不満	0.0%



(2) 参加する中で良かったと評価できる点を教えてください。

- ・参加して下さった医療者の方も、私達患者のために性について気に留めていてくれることが知れて嬉しかったです。
- ・参加者の方々のモチベーションが高く、素晴らしい会でした。
- ・患者の話をお聴きだけでなく医療者が意見を言い合えるため、私たち患者もそれぞれの病院の現状と取り組みを知ることができました。オンライン開催で、日本各地の医療者と話せたのも良かったです。
- ・今まで話せなかった事を以前以上に突っ込んで話せたのが良かった

(3) 参加する中で抵抗を感じたことや改善点などがあれば、ご記入ください。

- ・特になし
- ・同じグループの方々の関心を先に把握できているとそれに沿って話すことができたかなと考えました。
- ・個人的な悩みで恐縮ですが、長時間座りっぱなしになるため足のリンパ浮腫が少々キツかったです。5分の休憩の間になるべく動くなどはしてみましたが。できれば、短くてももう何度か休憩があるとありがたいです！
- ・抵抗はなかったが、もう少し医療者から突っ込んでいただけたらよかった。実際に医療現場が何を知りたいのかお互いにもっと話せればよかった